

広告 advertisementの訳語として「宣伝」や「告知」が用いられる。広く世間に知らせることを目的とした行為である。広く世間に知らせることを目的とした行為である。広く世間に知らせることを目的とした行為である。

最近の広告は、とてもおもしろいと思う。テレビ・新聞・雑誌・ラジオ・看板・ポスター……ありとあらゆるものを媒体とし、様々なジャンルのものである。また、インターネットの普及と共に、サイバー空間へ広告も急速に発展している。もはや広告は一種の芸術的な表現手段ともなっている。

しかも、無意に目を見つめてみるとどうだろう。天を突くように高く建ち上ったビルや、ただ道路を走り回っている。これらは、まさに広告の体現である。美しいものではない。

この企画では、建築の現場における広告のあり方を、広告を制作する現場から、視点を切り替えて見たい。建築現場を舞台に、広告を制作する現場から、視点を切り替えて見たい。

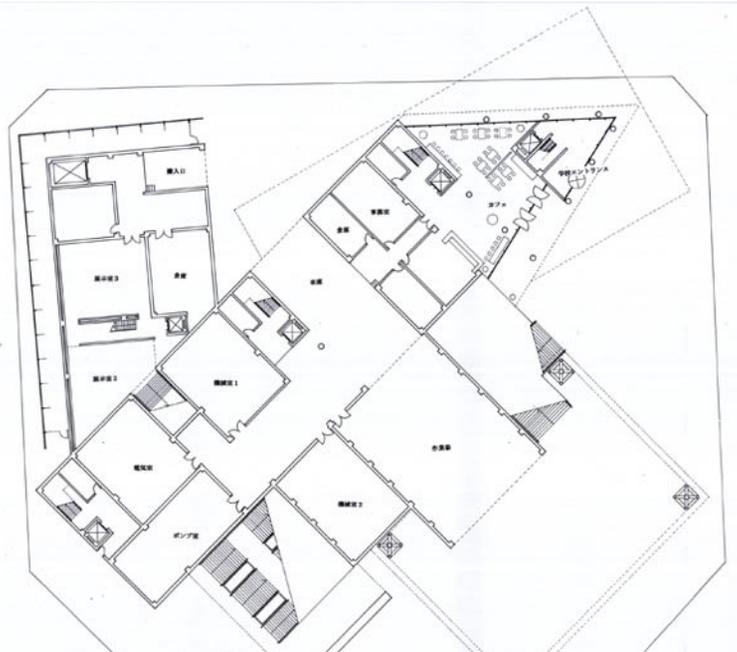
主要な機能として、この建築には、学生が広告制作を行うための作業場、展示場、会議室、ワークショップなどがある。

この建築のメインの機能は、学生が広告制作を行うための作業場、展示場、会議室、ワークショップなどがある。

この建築のメインの機能は、学生が広告制作を行うための作業場、展示場、会議室、ワークショップなどがある。

この建築のメインの機能は、学生が広告制作を行うための作業場、展示場、会議室、ワークショップなどがある。

この建築のメインの機能は、学生が広告制作を行うための作業場、展示場、会議室、ワークショップなどがある。



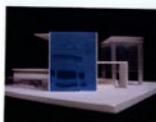
Level 1 plan (scale 1/200)



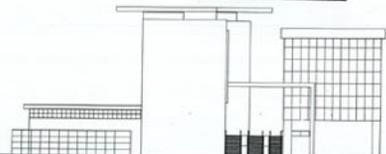
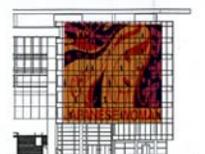
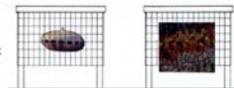
southeast elevation (1/400)



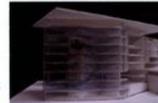
ダブルスキンの中に設置された、ルーバー状の発光ダイオード(LED)パネルにより外側のガラス面に映像が映し出される。外側から見ると、画面越しに内部の様子をうかがうことが出来る。内部には広告学校のブースがあるため、様々なアクティビティを透かし見ることが出来る。



二次元的な広告だけでなく、三次元的なものも広告にすることが出来る。広場の下には作業場があり、授業やワークショップにより作品を制作することが可能。広告の新たな表現方法の可能性を秘めたガラスボックスである。



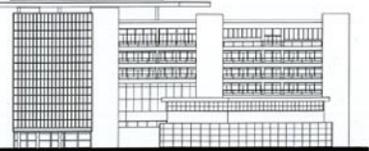
southwest elevation (1/400)



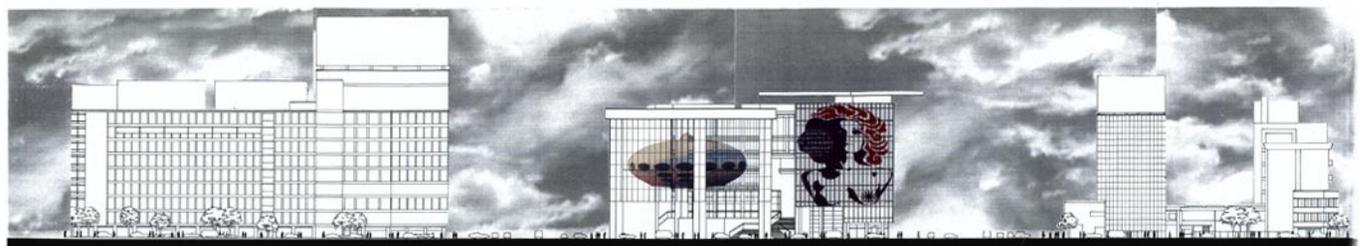
広告美術館の壁面を使って、学生がペイントやディスプレイを行う場所。ガラスの壁はショーウィンドウの役割を果たし、歩行者はアクティビティを目にすることが出来る。授業の一環として行われる以外に、ワークショップなどにも利用される。



ダブルスキンの中に折りたたみ可能なパネルが設置されている。パネルを折りたたんだり、伸ばしたりすることによって、様々な広告を見ることが出来る。ブースにいる学生たちがパネルを取り外しペイントすることも出来る。



northwest elevation (1/400)



scale 1/400

